自己点検･評価表

実施日: 2026 年 6 月 30 日

学校名: 横浜スポーツ＆医療ウェルネス専門学校

1. 学校の教育目標

⑴ 高度な技術力の修得

卒業後、社会に貢献できる実践的な知識・技能を最新のニーズに対応して習得させる

⑵ プレゼンテーション能力の育成

社会で重要となる明快で豊かな表現力を日々の授業を通して育成する

⑶ 豊かな人間性の涵養

感動ある学生生活を通じて礼儀・感謝する気持ちを備えた豊かな人間性を涵養する

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

課　　題	方　　策	成果指標
トップガン人材を育てよう	• 優良・高待遇企業や医療機関への就職内定獲得 • グローバルな視野を養う海外研修・短期留学等の検討 • 企業との共同研究、ビジネス支援の獲得	・難関就職先への内定数 ・海外研修・短期留学等への参加意向者の把握 ・事業化案件数
指導力を高めよう	• 授業の質と満足度の向上 • 就職内定率の向上	・職員の担任指導力向上に向けた研修実施 ・就職支援科目の整備
地域経済に貢献しよう	• 行政や地元企業・団体との産学連携 • スポーツ業界との産学連携の開拓	・外部連携案件数 ・スポーツ業界との授業やボランティアでの連携

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価については、優良…4 適切…3 やや不適切…2 不適切…1 としている

1 教育理念・目標			評価	エビデンス
1	1	理念・目的・育成人材像は定められているか （専門分野の特性が明確になっているか）	3	入学案内パンフレット
1	2	学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか	3	学校関係者評価委員会議事録
1	3	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3	教育課程編成委員会議事録
1	4	学校における職業教育の特色は明確になっているか	3	入学案内パンフレット
1	5	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3	新入生保護者ガイダンス資料 学生生活の手引き

① 状況・課題等

・学校関係者評価委員会および教育課程編成委員会を実施し、業界動向やニーズの把握を行っている
・社会人に必要な基本的なビジネススキルや IT スキル等は、学科を問わずカリキュラムに組み込んでいる
・令和 4 年度から医療事務科学生に対し、医師事務作業補助者に必要な 32 時間研修を就業前に学内で修了できるようカリキュラムに組み込んで実施している
・スポーツ分野の各学科では、それぞれの学科特性に応じた幅広い実習機会を設けている。特にアスレティックトレーナー科では、プロチームに加え、育成年代の選手を対象とした実習機会も設け、さまざまな年代・競技環境での実践的な学びにつなげている

② 今後の取り組み

・各学科が業界の動向やニーズに合わせて授業を行うため適宜ヒアリング等を実施し、カリキュラムや日々の授業に反映していく。

③ 特記事項

なし

2 学校運営			評価	エビデンス
2	1	専修学校設置基準及び職業実践専門課程の認定要件に沿った適切な運営がなされているか	3	職業実践専門課程の様式 4
2	2	運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3	組織図と会議体制
2	3	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3	組織図と会議体制
2	4	目的等に沿った事業計画が策定されているか	3	2026 年度業務計画キックオフ資料
2	5	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	3	業務グループ別年度計画
2	6	人事、給与に関する制度は整備されているか	3	人事・給与規定
2	7	専任教員は適正に配置されているか（専任教員や非常勤講師の週当たりの担当コマ数などの講義・実習負担は妥当であるか）	3	2026 年度担当割・教室割
2	8	教職員と非常勤講師等との定期的な情報共有を図っているか	3	チームコミュニケーションツール（Slack） 学習支援プラットフォーム（スタログ）
2	9	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3	就業規則、問合せ窓口の情報
2	10	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3	職業実践専門課程様式 4 学校公式 SNS 情報共有ツール（mypa）
2	11	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	グループフェア（Garoon） チームコミュニケーションツール（Slack） 学習支援プラットフォーム（スタログ）
2	12	教育方針や目標を含むマネジメントシステムの継続的な適合性、妥当性、有効性を確保するためにマネジメントレビューを実施しているか	3	業務 GL 会議資料 業務 GL 会議議事録
2	13	学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順（予防処置及び是正処置）を確立しているか	3	保護者ガイダンス資料 担任会議議事録
2	14	利害関係者が不満を抱いている場合や、利害関係者と学校側とで意見の相違がある場合の相談受付方法を案内しているか	3	保護者ガイダンス資料

① 状況・課題等
- 年度当初に事業計画・目標設定・予算策定を行い、キックオフミーティングにて全教職員に対し、意識統一の機会を設けている
- 定期的に運営会議（学園全体の管理職会議、本校の教職員会議、学年・学科会議、業務グループリーダー会議）を開催し、学校事業計画の進捗状況や課題等を全教職員が把握できるように努めている
- 毎日の朝礼やグループウェアを活用して、日々の状況（学校・学生等）を共有している
- 学生数増加に伴い教員不足が課題。経験の高い教員採用を進めていく
- 定期的に非常勤講師と情報共有する仕組みを構築する必要がある

② 今後の取り組み
- 定期的に非常勤講師と情報共有できる仕組みを構築する
- 次年度に向けて、各学科の専任教員および非常勤の増員を行う

③ 特記事項
なし

３ 教育活動			評価	エビデンス
3	1	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3	職業実践専門課程の様式 4
3	2	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリュキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3	教育課程編成委員会議事録
3	3	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3	年間学習フレーム 学習ガイド（シラバス）
3	4	関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3	教育課程編成委員会議事録
3	5	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3	年間学習フレーム 資格対策科目学習ガイド
3	6	講義および実習に関するシラバスは作成されているか （学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか）	3	学習ガイド
3	7	シラバス（作成されていればコマシラバス）には到達目標が記載されているか（Can-Do を意識した到達目標の明示）	3	学習ガイド 学習ガイド作成ﾏﾆｭｱﾙ
3	8	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3	職業実践専門課程の様式 3・様式 4
3	9	シラバスあるいは講義要項（作成されていればコマシラバス）は事前に学生に配布され、授業で有効活用されているか	3	学習ガイド 授業アンケート結果
3	10	実技・実習が講義と連動するなど、効果的学習に配慮されているか	3	年間学習フレーム
3	11	カリキュラムに関し、定期的に外部者（スポーツ業界団体、企業、医療関連団体等）の評価や意見を取り入れているか	3	教育課程編成委員会議事録
3	12	実技・実習に先立って、職業倫理や情報の取扱いに関する規程・マニュアルや規則（情報セキュリティ、個人情報の管理・取扱い、著作権、SNS の利用等）が整備され、公表されているか	3	個人情報保護規則 情報モラル基礎
3	13	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	3	職業実践専門課程の様式 4、学習ガイド
3	14	カリキュラムの作成・見直し等に関し、外部関係者からの評価や意見を取り入れているか	3	教育課程編成委員会議事録
3	15	閲覧権限の設定がなされ、個人情報保護への配慮がされているか	3	共有フォルダへのアクセス権設定
3	16	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3	教員募集要件

① 状況・課題等

・カリキュラム編成にあたっては、教育課程編成員会および業界関係者からのヒアリングを通して、業界動向やニーズに合わせて、適宜カリキュラム変更を行っている
・カリキュラム等、学則に関わる変更や追加については適宜、神奈川県から承認を得ている
・選択科目の幅を広げるため、姉妹校との授業を相互履修できる仕組みを構築した。
・入学時に学力選抜をおこなっていないこともあり勉強習慣のない学生も見受けられる。そのため効率的な学びの提供と学びに差がでてしまった学生のフォローが課題。

② 今後の取り組み

・効率的な復習方法として各授業での到達度確認の小テストを実施しているが、学習目標未達の学生フォローを強化していく必要がある。

③ 特記事項

なし

４ 学修成果			評価	エビデンス
4	1	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか	3	就職先評価
4	2	目標とする資格試験への合格率はどうか	3	入学案内パンフレット 職業実践専門課程の様式 4
4	3	卒業生の就職率はどの程度か	3	入学案内パンフレット 職業実践専門課程の様式 4
4	4	退学率の低減が図られているか	3	職業実践専門課程の様式 4
4	5	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか（卒業生の就職後の動向を出来るだけ把握し、卒業後にも就職その他の支援を行っているか）	2	就職先アンケート
4	6	評価目標ならびに想定される評価範囲を記述できているか	3	学習ガイド(シラバス)
4	7	学生の評価だけでなく、教職員やカリキュラムの評価も含め、評価方法及び手段、スケジュール及び根拠を記述しているか	3	職業実践専門課程の様式 4 人事考課の手引き
4	8	成績証明書等、評価結果が社会的通用性を高める形式となっているか	3	成績証明書 卒業証明書
4	9	ニーズ調査結果に基づき目的（到達目標）を設定し、目的に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか	3	2025 年度経営会議資料
4	10	学習サービス（教育・訓練）を受託または委託する場合、目的、要望、最終目標及び要件を明確にしているか	3	教育連携協定書
4	11	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3	就職先アンケート 実施レビュー

① 状況・課題等

・各学科において、資格取得、就職、実習等を通じた専門知識・技能の習得を学修成果として捉え、学生一人ひとりの将来のキャリア形成につながる教育・支援を行っている。

・スポーツ分野では、スポーツトレーナー科およびスポーツビジネス・レジャー科から初めての卒業生を輩出し、就職においても良好な成果につながっている。学生の希望や適性を踏まえた就職支援を行い、それぞれのキャリア形成を支援している。

・アスレティックトレーナー科では、今年度、初めての卒業生を輩出するとともに、JSPO-AT 実技試験を実施するなど、専門職人材の育成に向けた教育体制を整備している。資格取得を目指す学生に対しては、補講等を実施し、学修状況に応じた支援を行っている。

・医療事務科では、医療事務・医療関連分野で求められる資格取得を継続して支援し、資格取得率100％を継続して達成している。また、実務を想定した演習等を通じて、専門知識・技能の習得を図っている。

② 今後の取り組み

・卒業生との継続的な接点をつくり、業界で活躍する卒業生から、実際の仕事や業界の動向、学生のうちに身につけておくべき知識・経験等を在校生に伝える機会を設けるなど、卒業生の経験を在校生のキャリア形成に活用する取り組みを進める。

・資格取得や就職等の実績だけでなく、卒業後のキャリア形成や社会で求められる力についても把握し、その内容を教育活動やキャリア支援の充実に活用していく。

③ 特記事項

なし

５ 学生支援			評価	エビデンス
5	1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3	就職準備講座学習ガイド 就職ハンドブック
5	2	学生相談に関する体制は整備されているか	3	学生生活の手引き 学内カウンセラーについて
5	3	保護者と適切に連携しているか	3	情報共有ツール（mypa）による保護者宛文書 保護者ガイダンス資料
5	4	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	入学案内パンフレット
5	5	卒業生への支援体制はあるか	2	校友会ホームページ
5	6	図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか	3	学生生活の手引き 学校ルールの確認
5	7	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3	学生募集要項 岩崎ともみ奨学財団募集要項
5	8	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3	健康診断実施要領
5	9	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3	クラブ・サークル活動マニュアル 学生生活の手引き 放課後 GYM 開放
5	10	学生の生活環境への支援は行われているか	3	学内カウンセラーについて 学生カルテ
5	11	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3	高専連携講座契約書 高校部活連携協定

① 状況・課題等

・従来から担任制を敷いており在校生はまずは担任に相談することが習慣化されている。担任不在時でもほかの教員に相談できる環境を用意している。
・メンタル面での不調については担任だけでなく、週次で開設しているスクールカウンセラーと相談できる環境を用意しているが利用者は少ない。教職員が今のカウンセリングのあり方を再度研修しカウンセリング利用促進をしていくことが課題。
・連続欠席や未連絡の欠席があった場合は、保護者への電話連絡を徹底しており、学生生活や行事の様子については、情報共有ツールを通じて保護者に情報共有している
・スポーツ分野の学科新設に伴い新設した GYM や屋上のスポーツ設備を、学科に関係なく放課後開放し運動を通じて健康増進や学生間の交流の場としている。

② 今後の取り組み

・高校・高等専修学校等との部活動連携などを実施し、スポーツを通じたキャリア教育・職業教育の機会を充実させていく。
・学生の相談内容や状況に応じた支援を適切に行えるよう、教職員とスクールカウンセラーとの連携を深めるとともに、必要に応じて専門機関等につなぐなど、学生が次の行動につながる支援体制の充実を図る。
・学生が海外の文化やスポーツ、職業現場等に触れる機会を創出するため、短期留学や海外研修等の実施に向けた検討を進める。

③ 特記事項

なし

６ 教育環境			評価	エビデンス
6	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか（講義室は学生数、時間割にあわせ、無理なく配備されているか。またその大きさは学生数に見合ったものであるか）	4	2026 年担当割・教室割
6	2	カリキュラム上必要となる実習に用いる器材及びソフトウェア等を使用できる実習環境が備わっているか。また必要な数のライセンスが準備されているか	4	MS、ｼﾏﾝﾃｯｸのサイトライセンス、医療系ソフト、トレーニング設備、スポーツ実習室、医療系実習室
6	3	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか。	3	備品管理台帳
6	4	実習室等の学校施設、設備の利用割り当て（スケジュール管理）が明確になっているか	3	2026 年担当割・教室割 グループフェア（Garoon）
6	5	教職員に対して、学習指導のための教育訓練や安全管理のための避難訓練を実施しているか	3	避難訓練実施要領 年度目標研修受講計画書 研修参加報告書、
6	6	防災に対する体制は整備されているか	3	防災組織図
6	7	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3	病院実習報告会実施要領 スポーツ現場実習要綱

① 状況・課題等

・2024 年度に実施した校舎の大規模改修により、スポーツ分野および医療分野の学科特性に応じた施設・設備を整備している。現在も、各施設を授業や実習等で活用し、実践的な学習環境の充実を図っている。

・スポーツ分野の学科では、GYM やスポーツ実習室等を活用し、トレーニングをはじめとする実技授業やスポーツチームとの実習を実施している。

・医療事務科では、医療実習室を活用したロールプレイ等を行い、実際の業務を想定した実践的な学習環境を整えている。

② 今後の取り組み

・学生の実践的な学びをさらに充実させるため、屋上に 3x3 バスケットボールコートおよびピックルボールコートを新設した。今後は、授業や実習、スポーツイベント等での活用を進め、スポーツ施設を活用した教育機会の拡充を図る。

③ 特記事項

なし

7 学生の受入れ募集			評価	エビデンス
7	1	学生募集活動は、適正に行われているか（例えば、入学願書などの契約書を取り交わし、それらの文書を適切に管理しているか）	3	学生募集要項
7	2	履歴書（学歴、所有資格など）を適切に入手し、適切な管理を行っているか	3	学生募集要項
7	3	学校案内等には選抜方法など、入学に必要なスキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか	3	学生募集要項
7	4	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	3	学生募集要項
7	5	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3	入学案内パンフレット
7	6	評価手段及びその基準、修了時に発行される証明書等について説明しているか	3	学生生活の手引き
7	7	学力の不足や障がいに関する特別なニーズを特定しているか	3	入学前履歴
7	8	教育の履行、人的・物的資源の提供、個人情報の取り扱い、安全管理など、学校側の義務と責任を学生と保護者に案内しているか	3	学生生活の手引き 個人情報保護規定
7	9	学納金は妥当なものとなっているか	3	学生募集要項

① 状況・課題等

・年度当初に募集計画（募集人数・予算・利用広報媒体・体験入学等）を定め、定期的な進捗レビューを行いながら学生募集活動を行っている
・入学案内パンフレット、学生募集要項などで入学希望者に情報提供している他、オープンキャンパスへの参加を促し、学校・学科への理解を深め、入学後のミスマッチ防止に努めている
・オープンキャンパス等、イベント参加時に判明した特別なニーズについては、入学前履歴として蓄積し、入学後の学生生活の支援に活用している
・入学願書などは年度ごとにファイリングし、施錠できるキャビネットで厳重に保管・管理している
・新しい施設や設備および新学科の学生生活の様子を載せた入学案内パンフレットを作成。 また、SNS 等でも学校生活を訴求するため適宜更新し情報を発信している。

② 今後の取り組み

・スポーツトレーナー科およびスポーツビジネス・レジャー科の卒業・就職実績に加え、アスレティックトレーナー科の初めての卒業生や資格取得に向けた取り組みなど、各学科における教育成果を入学案内や WEB サイト等に反映し、入学希望者が入学後の学びやキャリアを具体的にイメージできる情報発信を充実させていく。
・施設・設備や授業、実習等についても、学生の活動や学びの様子を活用しながら、各学科の特色や教育内容を分かりやすく発信していく。

③ 特記事項

なし

8 教育の内部質保証システム			評価	エビデンス
8	1	学生によるアンケートなどで、適切に授業評価を実施しているか	3	授業アンケート
8	2	専任教員による相互評価など、適切な評価体制を有し、授業評価を行っているか	2	授業改善面談表
8	3	教育の質向上に役立つ改善点を明確にするために、教育を提供している状況(学習環境等)を確認・検証しているか	3	備品管理台帳
8	4	教職員のコンピテンシーを職務記述書と関連付けながら評価し、それらの評価結果を記録しているか	3	キャリアシート 人事考課の手引き
8	5	教職員に対する専門分野(IT 分野及び関連分野)に応じた能力開発のための研修制度ないし機会はあるか。(研修等の効果を評価し、文書により記録しているか)	2	職業実践専門課程の様式 4 研修参加報告書 担任会議議事録
8	6	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3	教職員一覧
8	7	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3	個人情報保護規定
8	8	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3	横浜スポーツ＆医療ウェルネス専門学校学則
8	9	文書管理規程、文書管理リスト(ファイル管理簿)ならびに決裁の流れを含む決裁規程(文書処理規程)が文書化されているか	2	文書管理規定
8	10	自己点検・評価や内部監査の実施と問題点の改善に努めているか	3	自己点検評価 内部監査報告書
8	11	監査や評価基準の知識を有する適任者により適切に監査され、当該課程・部署の責任者に監査結果を報告しているか	2	内部監査報告書
8	12	内部監査での指摘事項として、改善すべき点を明確にしているか	2	内部監査報告書
8	13	内部監査の結果を受けて取られる処置が、適切な時期及び適切な方法で実施されているか	2	内部監査報告書
8	14	自己点検・評価結果を公開しているか	3	自己点検評価表

① 状況・課題等

・各科目の最終授業日に授業アンケートを実施。学生自身の取り組み姿勢だけでなく、教員の教え方や教材についても回答を促している。アンケート結果については、学科グループリーダーとの面談にて改善方法を検討し、今後の授業に活かす努力をしている。また、各授業はいつでも授業見学可としているが、教員に空き時間が少なく見学頻度は少ない

・設置や運営に関わる法令は遵守しており、毎年 5 月には神奈川県の現況調査を受けている

・「専修学校における学校評価ガイドライン」に従い、自己評価・学校関係者評価の体制を整備し、実施。結果についても、ホームページにて公開している

② 今後の取り組み

・授業アンケートや自己点検・評価等を活用し、継続的な教育改善に取り組む

③ 特記事項

なし

９ 財務			評価	エビデンス
9	1	財務について会計監査が適正に行われているか	3	独立監査人の監査報告書（令和７年度）
9	2	財務情報公開の体制整備はできているか	3	ホームページ
9	3	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	平成 28～令和７年度決算書
9	4	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3	平成 28～令和７年度予算書

① 状況・課題等
・入学者確保に努め、入学者の急激な変動を極力抑えながら、収益事業を展開することで財政基盤の安定を図っている
・教職員の人件費、学生募集の広報費等は学園のガイドラインに従い、予算・収支計画を整え執行し、法に基づき会計監査の実施、財務情報の公開を適正に行っている

② 今後の取り組み
・特になし

③ 特記事項
・現状、財務基盤は安定しており、継続的な学校運営に問題ない状況

１０ 社会貢献・地域貢献			評価	エビデンス
10	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	小中学生対象チャレンジスクール実施要領
10	2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	ボランティア参加報告書
10	3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3	公共職業訓練　受講者募集のご案内

① 状況・課題等
・一般社団法人神奈川県専修学校各種学校協会が主催する小中学生向けのキャリア教育プログラム「チャレンジスクール」および「仕事のまなび場」に参加し、職業教育の機会を提供している。また、ワールドトライアスロンシリーズ横浜大会、横浜マラソン、湘南国際マラソン等のスポーツイベントに学生がボランティアとして参加している。

② 今後の取り組み
・次年度も引き続き「チャレンジスクール」「仕事のまなび場」等への参加や、ワールドトライアスロンシリーズ横浜大会、横浜マラソン、湘南国際マラソン等の地域スポーツイベントへの学生ボランティア参加を継続していく。医療事務科では、がん患者支援の『ガーゼ帽子を縫う会』に継続して参加。

③ 特記事項
なし

11　国際交流（必要に応じて）			評価	エビデンス
11	1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	3	留学生学生募集要項
11	2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	3	留学生学生募集要項
11	3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	2	留学生学生募集要項
11	4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3	留学生学生募集要項

① 状況・課題等
- 今年度は留学生１名が在籍しており、学修面や学生生活について、担任を中心に必要な支援・指導を行っている。
- 海外との交流機会については、学生の国際的な視野を広げ、将来のキャリア形成につなげる観点から、短期留学や海外研修等の機会の整備を進めている。

② 今後の取り組み
- 留学生の学修・学生生活等について、担任を中心に関係部署と連携しながら必要な支援を行い、卒業まで適切な在籍管理と学修支援を継続していく。

③ 特記事項
なし